

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2008-197681(P2008-197681A)

【公開日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2008-121637(P2008-121637)

【国際特許分類】

G 02 B	7/28	(2006.01)
G 03 B	13/36	(2006.01)
G 02 B	7/34	(2006.01)
G 02 B	7/36	(2006.01)
H 04 N	5/232	(2006.01)
H 04 N	101/00	(2006.01)

【F I】

G 02 B	7/11	N
G 03 B	3/00	A
G 02 B	7/11	C
G 02 B	7/11	D
H 04 N	5/232	H
H 04 N	101:00	

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月21日(2009.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入射する光を光電変換して電荷を蓄積するエリアセンサと、

前記エリアセンサに蓄積された電荷に基づいて電気信号を複数チャンネルで出力する第1の出力手段と、

前記複数チャンネルそれぞれに対して、共有の情報を出力する第2の出力手段と、

前記複数チャンネルにそれぞれ対応する複数のA/D変換器と、

前記複数のA/D変換器によりそれぞれA/D変換された前記複数のチャンネルからの電気信号を1枚の画像に合成する合成手段と、

前記合成手段により合成された画像に基づいて、コントラスト方式により合焦状態を検出する焦点検出手段とを有し、

前記合成手段は、前記複数チャンネルから出力された前記複数のA/D変換器によりそれぞれA/D変換された共有の情報を基づいて、前記A/D変換された電気信号を補正することを特徴とする焦点検出装置。

【請求項2】

入射する光を光電変換して電荷を蓄積するエリアセンサと、前記エリアセンサに蓄積された電荷に基づいて電気信号を複数チャンネルで出力する第1の出力手段と、前記複数チャンネルそれぞれに対して、共有の情報を出力する第2の出力手段と、前記複数チャンネルにそれぞれ対応する複数のA/D変換器と、前記複数のA/D変換器によりそれぞれA/D変換された前記複数のチャンネルからの電気信号を1枚の画像に合成する合成手段と

、前記合成手段により合成された画像に基づいて、コントラスト方式により合焦状態を検出する焦点検出手段とを備えた焦点検出装置の制御方法であって、

前記合成手段が、前記複数チャンネルから出力された前記複数のA／D変換器によりそれぞれA／D変換された共有の情報に基づいて、前記A／D変換された電気信号を補正するステップを有することを特徴とする制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】焦点検出装置及び制御方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記目的を達成するために、本発明の焦点検出装置は、入射する光を光電変換して電荷を蓄積するエリアセンサと、前記エリアセンサに蓄積された電荷に基づいて電気信号を複数チャンネルで出力する第1の出力手段と、前記複数チャンネルそれぞれに対して、共有の情報を出力する第2の出力手段と、前記複数チャンネルにそれぞれ対応する複数のA／D変換器と、前記複数のA／D変換器によりそれぞれA／D変換された前記複数のチャンネルからの電気信号を1枚の画像に合成する合成手段と、前記合成手段により合成された画像に基づいて、コントラスト方式により合焦状態を検出する焦点検出手段とを有し、前記合成手段は、前記複数チャンネルから出力された前記複数のA／D変換器によりそれぞれA／D変換された共有の情報に基づいて、前記A／D変換された電気信号を補正する。